

2023年度

専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

シラバス （講義概要）

国際経営学科

2年生

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	藤重 武三		
実務経験 教員紹介	ノート PC 関連製品の企画、開発業務・インテリジェント複合機の企画、開発業務・産業機械向け組込みコンピュータ事業の事業マネージメント・経営管理・人事管理業務		

講義概要
・戦略立案の基本的フレームワークである「3C 分析」「SWOT 分析」「マイケル・ポーターの競争戦略」「STP 分析」について、多くの事例と共に講義する・毎回教材を配布し、教材には演習問題や空欄問題を設けて、一方通行でない双方向の質疑応答を重視する
達成目標
・企業における戦略立案の全体像を理解する・各フレームワークの相関関係を理解する・各フレームワークの手法を理解して、基本的な戦略立案ができるようになる
学修成果
・演習/空欄問題の質疑応答により自身で考えられる力を養う・理論の応用を身近な具体例で考えることで理解を深める・戦略的な思考法により企業の課題解決に寄与できる

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	・授業ルールの説明・戦略とは？・企業の活動目的		授業計画	・ブルー・オーシャン戦略・プロセス・エコノミー・集中戦略
	事後学習	演習：自身の夢と戦略について		事後学習	ケーキ屋のプロセスエコノミー
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	・売上、原価、粗利等・3C 分析（顧客）・顧客ニーズとは？		授業計画	・集中戦略の事例・ニッチ戦略・集中戦略のリスク
	事後学習	演習：表面的ニーズ、本質的ニーズ		事後学習	集中戦略の手法の応用
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	・3C 分析（競合分析）・戦略キャンパス		授業計画	・STP 分析 セグメンテーション、ターゲティング
	事後学習	演習：ホテル・寿司屋のニーズ		事後学習	セグメンテーションの事例
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	・3C 分析（自社）・VRIO 分析・SWOT 分析		授業計画	・ターゲティングの根拠・ターゲティングの事例研究
	事後学習	地球温暖化について		事後学習	ターゲティングの実例
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	・SWOT 分析（機会）・機会の各事例について		授業計画	3C 分析、SWOT 分析、競争戦略、STP 分析 総合
	事後学習	SWOT 分析からの戦略立案		事後学習	総合演習
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	・SWOT 分析の事例研究・競争戦略（低価格戦略）		授業計画	総復習
	事後学習	クロス分析からの戦略立案		事後学習	復習
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	自習
	授業計画	・低価格戦略のための安くする仕組み・低価格戦略のリスク		授業計画	試験
	事後学習	ケーキ屋の低価格戦略		事後学習	なし
8	事前学習	前回の復習		事前学習	
	授業計画	・競争戦略（差別化戦略）・差別化戦略の事例		授業計画	
	事後学習	八百屋の差別化戦略		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	藤重 武三		
実務経験 教員紹介	・ ノート PC 関連製品の企画、開発業務・インテリジェント複合機の企画、開発業務・産業機械向け組込みコンピュータ事業の事業マネージメント・経営管理・人事管理業務		

講義概要
・ 企業戦略の理論やフレームワークについて事例と共に講義する（プロダクトライフサイクルと戦略、PEST 分析、5 フォース分析、バリューチェーン分析）・毎回教材を配布し、教材には演習問題や空欄問題を設けて、一方通行でない双方向の質疑応答を重視する
達成目標
・ 戦略立案の考え方やそのフレームワークを理解する・戦略理論や各フレームワークの手法を理解して、基本的な戦略立案ができるようになる
学修成果
・ 演習/空欄問題の質疑応答により自身で考えられる力を養う・理論の応用を身近な具体例で考えることで理解を深める・戦略的な思考法により企業の課題解決に寄与できる

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	・プロダクトライフサイクルとは？・ネットワーク効果		授業計画	・水平分業と垂直分業・水平分業、垂直分業の事例研究
	事後学習	演習		事後学習	演習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	・ネットワーク効果・プラットフォーム戦略		授業計画	・ビジョンと戦略・企業におけるビジョンの重要性
	事後学習	演習		事後学習	演習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	・プロダクトライフサイクル・成長期の戦略		授業計画	・PEST 分析とは？・5 フォース分析とは？
	事後学習	演習		事後学習	演習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	・プロダクトライフサイクルの成熟期の戦略・リーダーの戦略		授業計画	・5 フォース分析から考える企業戦略・事例研究
	事後学習	演習		事後学習	演習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	・競争地位別戦略・2 位以下の企業の戦略		授業計画	・バリューチェーン分析・バリューチェーンからの戦略検討
	事後学習	演習		事後学習	演習
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	・競争地位別戦略・2 位以下の企業の戦略		授業計画	総復習
	事後学習	演習		事後学習	復習
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	自習
	授業計画	・イノベーションとは？・イノベーションの歴史		授業計画	後期試験
	事後学習	演習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の復習		事前学習	
	授業計画	・最近のイノベーション動向・AI について		授業計画	
	事後学習	演習		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：80%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	組織論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	森内 尚博		
実務経験 教員紹介	大手システム会社、コンサルファームで事業戦略・マーケティング戦略、IT 戦略の立案の支援に従事した後、ベンチャー企業、上場企業のシステム子会社にて、事業戦略の企画・推進を行っていた。		

講義概要
経営組織論の歴史的な変遷を学ぶことで、組織のパフォーマンスを向上させるためのマネジメントの考え方や方法論学ぶことを通して、組織の一員としてどのような行動が求められるかを理解し、実践の中で活用可能な知識・スキルを習得する。
達成目標
経営者・管理者の視点で、組織パフォーマンス向上に向けた先人たちの知恵を学習することで、組織のリーダーとして活躍するための基本知識を習得する。
学修成果
組織の管理者の視点を学習することで、組織の中で活動するために必要な考え方を理解し、組織の一員として自ら考えて、適格な行動ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	自己紹介、組織論を学ぶ重要性、1 年間の講義の概要		授業計画	協働における組織文化の重要性とマネジメントの仕方
	事後学習	自分の所属した組織の振り返り		事後学習	志望企業の組織文化を調査
2	事前学習	配布資料の見直し	10	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	組織の基本的な構造(法人の形態、組織の体制)		授業計画	経営資源としての情報・知識のマネジメント
	事後学習	ケース企業の機能と職務の洗い出し		事後学習	志望企業の教育制度の調査
3	事前学習	配布資料の見直し	11	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	古典的組織論(テイラー、ファヨール、ウェバー)		授業計画	情報化時代における他組織との組織間ネットワーク
	事後学習	世界最古の企業の調査		事後学習	志望業界のサプライチェーンを調査
4	事前学習	配布資料の見直し	12	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	新古典的組織論(メイヨー、マクレガー～マズローまで)		授業計画	環境の変化に対応したイノベーションを産む組織
	事後学習	TIBC で学ぶ目的の整理		事後学習	活気のある会社の特徴を調べる
5	事前学習	配布資料の見直し	13	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	近代的組織論(バーナード、サイモン、サイアート＝マーチ)		授業計画	組織変革の必要性和組織変革に向けたプロセス
	事後学習	武田信玄の組織マネジメント		事後学習	志望企業の変革を考える
6	事前学習	配布資料の見直し	14	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	適応的組織論(バーンズ＝ストーカー、ウッドワード 等)		授業計画	前期の総まとめ(経営者・管理者の視点による組織論)
	事後学習	ウッドワードの技術と組織の調査		事後学習	授業内容の振り返り
7	事前学習	配布資料の見直し	15	事前学習	前期授業の復習
	授業計画	戦略的組織論(チャンドラー、アンゾフ、ポーター)		授業計画	前期試験の実施、講評
	事後学習	志望業界・企業の戦略を調査		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料の見直し		事前学習	
	授業計画	社会的組織論(CSR, SDGs)の概要		授業計画	
	事後学習	志望業界・企業の社会的活動の調査		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (参加姿勢) >：30%

教科書 著者名 なし：講師が都度準備したプリンタを元に授業を行う

参考書
タイトル
出版社
著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	組織論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	森内 尚博		
実務経験 教員紹介	大手システム会社、コンサルファームで事業戦略・マーケティング戦略、IT 戦略の立案の支援を 従事した後、ベンチャー企業、上場企業のシステム子会社にて、事業戦略の企画推進を行っていた。		

講義概要
組織論Ⅰで学習した理論を踏まえて、組織の協働を推進するための具体的・実践的なスキル・テクニックを過去の事例（歴史や企業）を通して学習すると共に、組織の一員として、周囲から評価される人材になるための心構え、習慣を身に付ける。
達成目標
様々なケースを通して、対人スキルやセルフマネジメント方法を学習することで、周囲から評価される人材となり、活躍するための基礎を身に付ける。
学修成果
組織の一員として、組織の中で活動するために必要な考え方や振る舞いを体得し、組織の一員として自ら考えて、適格な行動ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	組織における協働の推進 ①部門管理者の役割		授業計画	歴史に学ぶ ②三国志・論語に学ぶ人材戦略
	事後学習	配布資料を基に授業の復習		事後学習	配布資料を基に授業の復習
2	事前学習	配布資料の見直し	10	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	組織における協働の推進 ②ビジネスコミュニケーション		授業計画	歴史に学ぶ ③三国志・論語に学ぶフォロワーシップ
	事後学習	配布資料を基に授業の復習		事後学習	配布資料を基に授業の復習
3	事前学習	配布資料の見直し	11	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	組織における協働の推進 ③健全な関係作り		授業計画	組織のメンバーとして力を磨く ①自己を磨く
	事後学習	配布資料を基に授業の復習		事後学習	配布資料を基に授業の復習
4	事前学習	配布資料の見直し	12	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	リーダーとして人を動かす技術 ①人を動かす力の必要性		授業計画	組織のメンバーとして力を磨く ②感情をコントロールする
	事後学習	配布資料を基に授業の復習		事後学習	配布資料を基に授業の復習
5	事前学習	配布資料の見直し	13	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	リーダとして人を動かす技術 ②主体性の引き出す技術		授業計画	組織のメンバーとして力を磨く ③時期を待つ
	事後学習	配布資料の見直し		事後学習	配布資料を基に授業の復習
6	事前学習	配布資料の見直し	14	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	リーダとして人を動かす技術 ③説得し納得させる技術		授業計画	後期授業内容の振り返りと
	事後学習	配布資料の見直し		事後学習	配布資料を基に授業の復習
7	事前学習	配布資料の見直し	15	事前学習	後期授業の復習
	授業計画	リーダとして人を動かす技術 ④組織の中で人を動かす		授業計画	後期試験の実施、講評
	事後学習	配布資料を基に授業の復習		事後学習	1 年間の総復習
8	事前学習	配布資料の見直し		事前学習	
	授業計画	歴史に学ぶ ①三国志の英雄たちに学ぶ組織戦略		授業計画	
	事後学習	配布資料を基に授業の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（参加姿勢）>：30%
教科書 著者名 なし：講師が都度準備したプリントを元に授業を行う
タイトル
出版社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	消費者行動論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
経済が時代とともに変化するのと同じように、消費者の心理や行動も変化してきている。本講義では、消費者行動の歴史をもとに、様々なモデルを用いて消費者心理を学んでいく。また、どのように消費者へアプローチしていくか、マーケティング的視点も用いながら理解を深めていく。
達成目標
「消費」とは何か、購買プロセスやライフスタイルの変化が与える影響は何かということを事例を用いながら学び、今後、どのようにしてビジネスに活かしていくことができるかを考えることを目標としていく。
学修成果
消費者の購買行動を中心に学ぶことで、消費者心理を理解できるようになる。そのため、接客業の仕事に就いた際に顧客視点で物事を考えて行動できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者行動論とは①・消費者行動論の歴史		授業計画	平成の消費者行動②(コト消費・トキ消費・イミ消費)
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	レポート提出⑨
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者行動論とは②・E L Mモデル		授業計画	非計画購買と衝動購買
	事後学習	レポート提出②		事後学習	レポート提出⑩
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者が行動に至るまでの過程①(AIDMA・AISAS)		授業計画	ケーススタディ②
	事後学習	レポート提出③		事後学習	レポート提出⑪
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者が行動に至るまでの過程②(AISEAS・SIPS・DUALAISEAS)		授業計画	ライフサイクルアプローチ・ライフコースアプローチ
	事後学習	レポート提出④		事後学習	レポート提出⑫
5	事前学習	指定された企業のHPを確認する	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	ケーススタディ①		授業計画	試験前対策①
	事後学習	レポート提出⑤		事後学習	試験準備
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	高度経済成長期の消費者行動		授業計画	試験前対策②
	事後学習	レポート提出⑥		事後学習	試験準備
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	バブル期前後の消費者行動		授業計画	定期試験
	事後学習	レポート提出⑦		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	平成の消費者行動①			
	事後学習	レポート提出⑧			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題・小テスト) >：20%

教科書 著者名
タイトル 資料を随時配布

参考書 出版社
著者名
タイトル 特になし
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネスプレゼンテーション	単位	4 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
コミュニケーションの活用における苦手場面の強化をすることで、ビジネス場面で適切なコミュニケーションができることを目標とした講義とする。そのため初対面、面接、人前での発表場面でのプレゼンテーションスキルを習得できる内容となっている。
達成目標
初対面、面接場面、人前での発表場面で人と目的に合わせた適切かつ効果的な内容を考え表現できるプレゼンテーションスキルを身につけることを目標とする。
学修成果
場面に応じた適切な話の構成及びコミュニケーションスキル、資料作成等社会人として必要なプレゼンテーション知識及びスキルを習得することで自信を持った表現ができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	初対面会話①挨拶 ソーシャルスキルトレーニング		授業計画	面接表現④自他分析(価値観調査、企業研究、志望理由)
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
2	事前学習	学習するキーワードの確認	10	事前学習	コンテスト準備
	授業計画	初対面会話②初対面会話における OK と NG		授業計画	中間課題①：面接コンテスト
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	コンテスト内容のフィードバック
3	事前学習	学習するキーワードの確認	11	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	初対面会話③話を聞くときのあいづちと要約		授業計画	スピーチ①話すとは(相手・目的・場面の分析)
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
4	事前学習	学習するキーワードの確認	12	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	初対面会話④友人との初対面ソーシャルスキルトレーニング		授業計画	スピーチ②伝える(発音、目線、ジェスチャー)
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
5	事前学習	学習するキーワードの確認	13	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	初対面会話⑤名刺交換での初対面トレーニング		授業計画	スピーチ③構成する(PREP 法、演繹法、帰納法)
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
6	事前学習	学習するキーワードの確認	14	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	面接表現①就職活動体験(エントリーシート、模擬面接)		授業計画	中間課題②：スピーチコンテスト
	事後学習	学習するキーワードの確認		事後学習	スピーチ発表のフィードバック
7	事前学習	学習したキーワードの確認	15	事前学習	試験準備
	授業計画	面接表現②良い印象とは(挨拶、動作、文字表現)		授業計画	定期試験
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	試験内容の確認
8	事前学習	学習するキーワードの確認			
	授業計画	面接表現③差を付ける書き方(履歴書・エントリーシート)			
	事後学習	学習したキーワードの確認			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：20% <(課題)>：50%

教科書
著者名
タイトル
出版社
参考書
著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ビジネスプレゼンテーション	単位	4 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
ビジネス場面で想定されるコミュニケーションにかかわる知識を学習及び実践することで、ビジネス場面で適切なコミュニケーションの習得を目標とした講義とする。そのためスライド作成、ビジネスプレゼン、企画書作成等会社での発表場面でのプレゼンテーションスキルを習得できる内容となっている。
達成目標
スライド作成、ビジネスプレゼン、企画書作成等社内の仕事として想定される内容を適切かつ効果を考え表現できるプレゼンテーションスキルを身につけることを目標とする。
学修成果
ビジネス場面に適切なスライド作成、企画書、プレゼンテーション等社会人として必要なプレゼンテーション知識及びスキルを習得することで自信を持った表現ができる。

授業計画

16	事前学習	なし	24	事前学習	発表準備
	授業計画	プレゼンテーション復習①プレゼンテーションの目的と聴き手		授業計画	発表課題②：社外プレゼン企画コンテスト
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	発表内容のフィードバック
17	事前学習	学習するキーワードの確認	25	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	プレゼンテーション復習② 3P 分析と言語・非言語表現		授業計画	事例と実践で学ぶ成功するチームビルディング
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
18	事前学習	学習するキーワードの確認	26	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	社内プレゼン①通常プレゼンテーションとの違い		授業計画	事例と実践で学ぶ成功するアイデア発想と会議の流れ
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
19	事前学習	学習するキーワードの確認	27	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	社内プレゼン②資料及びスライド作成のポイント		授業計画	事例と実践で学ぶ成功する企画書作成のポイント
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	学習したキーワードの確認
20	事前学習	学習するキーワードの確認	28	事前学習	学習するキーワードの確認
	授業計画	社内プレゼン③企画を成功させる 3つのポイント		授業計画	実践練習：短時間におけるチームでの企画作成
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	作成した内容の確認
21	事前学習	発表準備	29	事前学習	発表準備
	授業計画	発表課題①：社内プレゼン企画コンテスト		授業計画	発表課題③：チームでのビジネスプレゼンコンテスト
	事後学習	発表内容のフィードバック		事後学習	発表内容のフィードバック
22	事前学習	学習するキーワードの確認	30	事前学習	試験準備
	授業計画	社外プレゼン①社内プレゼンテーションとの違い		授業計画	定期試験
	事後学習	学習したキーワードの確認		事後学習	試験内容の確認
23	事前学習	学習するキーワードの確認			
	授業計画	社外プレゼン②適切なスライド作成と表現方法			
	事後学習	学習したキーワードの確認			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：30% <（課題）>：50%

教科書
著者名
タイトル
出版社
参考書
著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	経営シミュレーション	単位	4 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運營業務		

講義概要
我々の最も身近な税金の一つである「所得税」についての知識と計算スキルについて学びます。この講義では所得税の一連の計算のうち、「10 種類の所得」分類と各種所得金額の計算方法までの範囲を講義します。それ以降の計算手続については、経営シミュレーションⅡで講義します。
達成目標
多種多様な個人所得を 10 種類の所得に分類することができ、その 10 種類の所得について、所得金額の計算式に従って計算ができることを目標とします。
学修成果
所得税の概要を理解した上で、身近な給与所得の課税方法や年末調整、確定申告などの手続ができるようになります。他の種類の所得については所得分類と金額の計算が可能となります。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得税の概要と所得税の仕組み、所得税の基本的な計算について		授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑥（給与所得、退職所得）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	10 種類の所得分類（利子所得～雑所得）と非課税所得について		授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑦（山林所得、譲渡所得①）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	課税方法（総合課税・分離課税）の違い、申告・徴収方法等		授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑧（譲渡所得②）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算①（利子所得、配当所得①）		授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑨（一時所得、雑所得）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算②（配当所得②、不動産所得①）		授業計画	10 種類の所得の総まとめと課税標準の計算①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算③（不動産所得②）		授業計画	10 種類の所得の総まとめと課税標準の計算②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算④（事業所得①）		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認のための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑤（事業所得②）			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%

教科書 著者名 全国経理教育協会編
タイトル 令和 5 年版 入門税法
出版社 清文社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	経営シミュレーション	単位	4 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運營業務		

講義概要
我々の最も身近な税金の一つである「所得税」についての知識と計算スキルについて学びます。経営シミュレーションⅠで学習した続きとして、所得控除、税額控除、所得税の納付税額の計算まで、所得税の一連の計算方法や確定申告について講義します。また、所得税以外の税金の概要についても講義します。
達成目標
所得税の一連の計算における所得控除額の計算、納付税額の計算についての実践的なスキル習得と申告納税制度や源泉徴収などの仕組みの理解を目標とします。
学修成果
所得税の一連の計算や、給与所得者の年末調整、医療費控除や寄付金控除などの所得控除を受けるための確定申告手続きが独力で可能となります。

授業計画

16	事前学習	なし	24	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	課程演習Ⅰで学習した、所得分類と各種所得金額の計算の総復習		授業計画	各種税額控除の意義の計算（例題の演習と解答解説）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
17	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	25	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得控除額の計算①（所得控除額の概要、雑損控除、医療費控除）		授業計画	納付税額の計算（例題の演習と解答解説）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
18	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	26	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得控除額の計算②（生命保険料控除、地震保険料控除）		授業計画	所得税の申告、納付の手続、その他の手続等
	事後学習	課題の実施とサブノートの復習		事後学習	講義ノート整理
19	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	27	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得控除額の計算③（社会保険料控除、寄付金控除）		授業計画	確定申告実務（確定申告 Web サイトの紹介、利用方法について）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
20	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	28	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得控除額の計算④（障害者控除、ひとり親控除、勤労学生控除）		授業計画	租税概論①（税金の目的、納税義務者、税金の分類）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
21	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	29	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得控除額の計算⑤（配偶者控除、扶養控除、基礎控除）		授業計画	租税概論②（税金の体系、法人税・相続税の概要）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
22	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	30	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	課税総所得金額の計算の総合演習①（例題の演習と解答解説）		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認のための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
23	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	課税総所得金額の計算の総合演習②（例題の演習と解答解説）			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%
教科書 著者名 全国経理教育協会編
タイトル 令和5年版 入門税法
出版社 清文社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	卒業演習	単位	6 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美、高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
本講義では、Japan as No.1 と謳われた日本の経営について考察していく。日本の経営方法は現在の日本企業にも踏襲されている部分も多い。本校卒業後、日本企業に就職する学生にとっては、理解しておかなければならないシステム、考え方を解説していく。
達成目標
日本の企業文化を理解するとともに、企業の海外進出のフェーズが理解できるようになること。そして、自国に進出している日系企業について分析できるようになる。
学修成果
本講義を受講することで、日本企業文化が理解でき、自身が日本企業で働く際に対応できる知識が身につくようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	オリエンテーション 日本的経営とは何か。		授業計画	日本企業の海外進出 2) 海外進出の段階について
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
2	事前学習	前回ノートの確認	10	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 1) 人的管理について		授業計画	日本企業の海外進出 3) 海外進出の方法
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
3	事前学習	前回ノートの確認	11	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 2) 組織の制度と構造		授業計画	日本企業の海外進出 4) 企業の海外戦略
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
4	事前学習	前回ノートの確認	12	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 3) 従業員の意識		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ①SONY
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
5	事前学習	前回ノートの確認	13	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 4) 経営戦略		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ②NISSAN
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
6	事前学習	前回ノートの確認	14	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 5) 日本の産業構造について		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ③ヤクルト
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
7	事前学習	前回ノートの確認	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	中間テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	なし		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回ノートの確認		事前学習	試験勉強
	授業計画	日本企業の海外進出について 1) 戦後の日本経済史（為替を中心）		授業計画	期末試験
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	試験の振り返り

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (課題) >：30%

教科書 著者名 なし
タイトル
出版社
参考書 著者名 山田 英二
タイトル 新しいグローバルビジネスの教科書
出版社 PHP 新書

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	卒業演習	単位	6 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美、高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
基本の三時制である「現在形」、「過去形」、「未来形」のニュアンスについて理解すると共に、「形容詞」、「副詞」等の初級文法についても、会話の中で使用出来るようになる。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。「自分自身や家族の事」、また「趣味」等の日常的なトピックについて、自信を持って発話出来るようになる。

授業計画

16	事前学習	なし	24	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are (be 動詞の肯定文・否定文)		授業計画	be 動詞の過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
17	事前学習	前回の授業内容について見直し	25	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are (be 動詞の疑問文)		授業計画	単純過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
18	事前学習	前回の授業内容について見直し	26	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	現在進行形		授業計画	単純過去形の否定文と疑問文
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
19	事前学習	前回の授業内容について見直し	27	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形		授業計画	I'm going to + 動詞の原形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
20	事前学習	前回の授業内容について見直し	28	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の否定文		授業計画	未来を表す be + ing
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
21	事前学習	前回の授業内容について見直し	29	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の疑問文		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
22	事前学習	前回の授業内容について見直し	30	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	形容詞		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
23	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	副詞			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法 出席状況：0% 定期試験：90% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名 Raymond Murphy
タイトル マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
出版社 ケンブリッジ大学出版

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	卒業演習	単位	6 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美、高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
卒業演習として、本講義は、ハーバードビジネススクールのケースを使用し、意思決定について経験していきます。今回は、日本開業 40 周年を迎える東京ディズニーリゾートをテーマにしたテキストを使用し、2 年間学んできたビジネス知識を活用し、意思決定していきます。
達成目標
ケーススタディを通して、分析力、意思決定力を育てていく。限られた情報を元に状況を分析し、仮説を立てシナリオを作成し、意思決定できる。
学修成果
経営学・財務・経済学・組織論・マーケティングなど 2 年間学んできた知識を活用し、課題ケースの状況に陥った時、自分自身が意思決定できるようになる

授業計画

31	事前学習	なし	39	事前学習	ケース文章を読む
	授業計画	ケーススタディとは何か。ケーススタディの重要性について		授業計画	グループワーク①問題発見／問題解決に向けて
	事後学習	復習		事後学習	ビジネスツールの復習
32	事前学習	ケース文章を読む	40	事前学習	ケース文章を読む
	授業計画	ケーステキストの読み合わせ① 日本語の語彙を確認		授業計画	グループワーク③取るべき戦略の決定
	事後学習	新しい言葉を復習しておく		事後学習	グループディスカッションの復習
33	事前学習	ケース文章を読む	41	事前学習	PPT 作成
	授業計画	ケーステキストの読み合わせ② 日本語の語彙を確認		授業計画	プレゼン準備（意思決定の発表に向けて）
	事後学習	新しい言葉を復習しておく		事後学習	プレゼンに備える
34	事前学習	ケース文章を読む	42	事前学習	PPT 作成
	授業計画	ケーステキストの読み合わせ③ 日本語の語彙を確認		授業計画	プレゼン準備（意思決定の発表に向けて）
	事後学習	新しい言葉を復習しておく		事後学習	プレゼンに備える
35	事前学習	ケース文章を読む	43	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	オリエンタルランドの企業概況をまとめる		授業計画	グループでのプレゼンテーション
	事後学習	歴史について復習		事後学習	プレゼンの内容を復習
36	事前学習	ケース文章を読む	44	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	オリエンタルランドの現状分析①（外部環境）		授業計画	グループでのプレゼンテーション
	事後学習	ビジネスツールの復習		事後学習	プレゼンの内容を復習
37	事前学習	ケース文章を読む	45	事前学習	復習
	授業計画	オリエンタルランドの現状分析②（内部環境）		授業計画	定期試験
	事後学習	ビジネスツールの復習		事後学習	0
38	事前学習	ケース文章を読む		事前学習	
	授業計画	オリエンタルランドの現状分析③（内部環境）		授業計画	
	事後学習	ビジネスツールの復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：30% <（課題）>：40%
教科書 著者名 ラモン・カサデサル・マサネル／神野明子
タイトル 株式会社オリエンタルランドー東京ディズニーリゾート
出版社 ハーバードビジネススクール（HBSP-720J11-C）

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	小池 勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
企業がマネジメントすべき対象が「モノ」から「コト」へ変化してきている。本講義では「サービス」と「ホスピタリティ」の違いを理解し、利他的な行動が企業経営に与える影響について考える。また、高度なサービスやホスピタリティも持つ企業の事例を基に、その企業文化や経営戦略について考察する。
達成目標
企業経営において重要な「サービス」と「ホスピタリティ」の本質的な違いを理解する。そして、サービスやホスピタリティに対する考え方が企業経営に影響を与える影響を理解する。
学修成果
自らが企業の一員となって顧客と接する際に、WIN-WIN の関係構築ために、企業側と顧客側双方の視点を理解し、顧客のために「ホスピタリティ」を発揮できる人材となる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	旅客運送業の Web サイトを調べる
	授業計画	講義ガイダンス なぜ「ホスピタリティ経営論」を学ぶのか？		授業計画	②業界・職業研究／「バス・鉄道・航空業界」の仕事について
	事後学習	生活の中でホスピタリティを探す		事後学習	旅客運送業界を理解する
2	事前学習	サービスとは何かを調べる	10	事前学習	宿泊業界の Web サイトを調べる
	授業計画	「社会のサービス化とは」モノ消費からコト消費、イミ消費の時代へ		授業計画	③業界・職業研究／「旅館・ホテル業界」の仕事について
	事後学習	消費スタイルの変遷を理解する		事後学習	宿泊業界を理解する
3	事前学習	サービスの商品例を調べる	11	事前学習	テーマパークの Web サイトを調べる
	授業計画	「商品としてのサービス」サービスとは何か？		授業計画	④業界・職業研究／「テーマパーク」の仕事について
	事後学習	なぜサービスを買うのかを理解する		事後学習	テーマパーク業界を理解する
4	事前学習	サービスの評価方法を調べる	12	事前学習	飲食小売業界の Web サイトを調べる
	授業計画	「サービス品質とは？」サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	⑤業界・職業研究／「飲食・小売り業界」の仕事について
	事後学習	サービスの良し悪しを理解する		事後学習	飲食小売業界を理解する
5	事前学習	ホスピタリティとは何かを調べる	13	事前学習	冠婚葬祭業界の Web サイトを調べる
	授業計画	サービスとホスピタリティの違い ホスピタリティの定義		授業計画	⑥業界・職業研究／「冠婚葬祭業界」の仕事について
	事後学習	ホスピタリティの定義を理解する		事後学習	冠婚葬祭業界を理解する
6	事前学習	組織文化とは何かについて調べる	14	事前学習	これまでの講義のノート整理
	授業計画	「組織文化とホスピタリティ」ホスピタリティが生まれやすい企業文化		授業計画	講義のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	組織文化とは何かを理解する		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	ホスピタリティ産業とは何か調べる	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	「ホスピタリティ産業の未来」 現状と今後の課題		授業計画	期末試験
	事後学習	ホスピタリティ産業の課題を知る		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	旅行業界の Web サイトを調べる			
	授業計画	①業界・職業研究／「旅行業界」の仕事について			
	事後学習	旅行業界を理解する			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：70%

教科書 著者名 タイトル 教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布

参考書 著者名 タイトル 出版社 関連書籍、新聞、Web サイトなどから適宜引用
著者名 タイトル 出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ経営Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	小池 勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
価値観が多様化する時代において、感情的知性＝「EI」が求められている。知識や情報をコントロールし、他者との「信頼」に基づいたコミュニケーションの在り方や、人間だけが持つ他者への「共感」という心の動きに注目し、これからの企業人として持つべきホスピタリティ能力について考察する。
達成目標
ビジネスにおいては、顧客への共感や信頼関係の構築が不可欠である。本講義では、ホスピタリティという感情的知性が強く求められる「感情労働」に従事する際の心構えを身に付ける。
学修成果
AI 化やロボット化が急速に進む現代において、顧客満足の最大化のために、将来、顧客に対して親愛、誠実さ、責任感などのイメージを与えられるような心の対応能力を身に付ける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	感情はどのようなものか考えてみる
	授業計画	講義ガイダンス なぜ「ホスピタリティ」を学ぶのか？		授業計画	感情労働におけるコミュニケーション 同時性、不可分性、不確定性、無定量性
	事後学習	ホスピタリティの必要性を理解する		事後学習	「感情労働」とは何かを理解する
2	事前学習	AI とは何か調べておく	10	事前学習	感情とビジネスの関係を考えておく
	授業計画	AI 化、ロボット化が進む現代社会 感情労働の拡大について		授業計画	感情労働と心の商品化 感情労働に求められる働き方とは
	事後学習	働き方の急激な変化を理解する		事後学習	「感情労働」の重要性を理解する
3	事前学習	感情とは何かを調べておく	11	事前学習	なぜ接客が必要なのかを考えておく
	授業計画	感情的知性「EI」とは なぜ「EI」が重要なのか		授業計画	「接客」の特質 非接客活動と接客活動
	事後学習	仕事における感情表現の重要性		事後学習	「接客」の重要性を理解する
4	事前学習	感情表現と顧客満足の関係を考えて おく	12	事前学習	「良い接客」の事例を考えておく
	授業計画	事例研究①		授業計画	事例研究③
	事後学習	興味のある業界の事例を調べてみる		事後学習	興味のある業界の事例を調べてみる
5	事前学習	「共感」とは何かを調べておく	13	事前学習	感情労働の将来性を考えておく
	授業計画	共感の三タイプ 認知的共感、情動的共感、共感的行動		授業計画	サービスとホスピタリティの違い感情的 知性が求められるホスピタリティ
	事後学習	「共感」とは何かを理解する		事後学習	サービスとホスピタリティの二極化を 理解する
6	事前学習	自分の共感度が高い事例を調べる	14	事前学習	これまでの講義のノート整理
	授業計画	個客に提供する三つの価値 経済的価値、機能的価値、感情的価値		授業計画	講義のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	「顧客満足」とは何かを理解する		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	顧客満足を高める要因を考えておく	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	サードプレイス職場でも家庭でもな い、人々が気軽に集う第三の場所		授業計画	期末試験
	事後学習	「場」とホスピタリティの関係		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	顧客満足度の高い施設の例を考える		事前学習	
	授業計画	事例研究②		授業計画	
	事後学習	興味のある業界の事例を調べてみる		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：70% < () > : %

教科書 著者名 教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
タイトル
出版社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	会計学総論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	大塚 通成		
実務経験 教員紹介	経理業務における売掛金管理、支払管理。月次決算、年次決算に加え、各営業所についての会計監査を担当。銀行取引、借入相談、借入利率交渉。		

講義概要	
1 年次に学んだ簿記の知識を活かし、企業会計原則をはじめとした、簿記会計における会計処理の根拠となる規定等を学習する。特に、貸借対照表、損益計算書についての作成根拠を詳細に、かつ、単なる会計原則の暗記や抽象的解釈のみにならないよう、具体的な簿記の仕訳等を例に出して詳細に学んでいく。	
達成目標	
1 年次の簿記の授業においては主に会計処理の方法論を学習した。会計学総論では、仕訳をはじめとしたその一つの処理に関する根拠を学んでいく。	
学修成果	
簿記における会計処理というのは一つ一つ根拠があるため、それを学ぶことでさらなる理解の深掘りにつながる。会計実務や資格取得に活かせるように意味合いを理解する。	

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	報告式の損益計算書を見ておく
	授業計画	簿記と会計学の違い 貸借対照表、損益計算書		授業計画	損益計算書(勘定式、報告式)、各利益
	事後学習	B/S と P/L の役割を復習する		事後学習	各利益を覚える
2	事前学習	資産と負債の種類について確認する	10	事前学習	各利益を復習
	授業計画	流動資産、固定資産、流動負債、固定負債の概要を説明		授業計画	損益計算書および各利益についての問題
	事後学習	具体的な勘定科目を考える		事後学習	各利益の詳細を理系する
3	事前学習	簿記で学んだ資産、負債の勘定科目がどのカテゴリに入るか	11	事前学習	損益計算書全体を考える
	授業計画	流動・固定に関する応用問題		授業計画	損益計算書のルール 3 つ
	事後学習	正常営業循環基準、一年基準について復習		事後学習	損益計算書の構造を理解する
4	事前学習	新しい科目について確認する	12	事前学習	費用を仕訳の仕方を復習しておく
	授業計画	資産の詳細。事業用資産、金融資産など。		授業計画	主に費用収益対応の原則の詳細
	事後学習	資産の種類で評価基準が異なる理由		事後学習	費用を計上するタイミングを理解する
5	事前学習	授業で説明した資産について復習	13	事前学習	これまでの復習
	授業計画	流動資産、固定資産の詳細		授業計画	これまでのまとめ
	事後学習	新しく登場した勘定科目を確認		事後学習	主に B/S と P/L 知識を確認
6	事前学習	簿記 3 級の負債の確認	14	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	負債の詳細。未払費用、前受収益は勘定科目ベースで仕訳を交えて説明		授業計画	期末試験
	事後学習	引当金等を復習		事後学習	期末試験の振り返り
7	事前学習	会社の純資産の科目を調べる	15	事前学習	-
	授業計画	純資産、主に株主資本について説明		授業計画	-
	事後学習	会計学の純資産を学ぶ		事後学習	-
8	事前学習	株主資本以外の純資産を調べる		事前学習	-
	授業計画	純資産、株主資本以外の純資産について説明		授業計画	-
	事後学習	株主資本以外の純資産の例		事後学習	-

評価方法	出席状況：50% 定期試験：50%
教科書	著者名 大阪商工会議所 タイトル ビジネス会計検定試験公式テキスト 出版社 中央経済社
参考書	著者名 タイトル 出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	会計学総論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	大塚 通成		
実務経験 教員紹介	経理業務における売掛金管理、支払管理。月次決算、年次決算に加え、各営業所についての会計監査を担当。銀行取引、借入相談、借入利率交渉。		

講義概要
損益計算書詳細及びキャッシュフロー計算書の作成の仕方などについて学習する。損益計算書については 1 年次に学習した簿記の知識とのつながりが深いので、具体的な仕訳等を出しながら進めていく。キャッシュフロー計算書は主に損益計算書との比較として説明していく。
達成目標
損益計算書については成り立ちや作成根拠を学ぶ。キャッシュフロー計算書は初めての内容のため、仕組みや簡単な数字を中心に概要を覚える。
学修成果
損益計算書の各利益の意味合いについて理解できるようになる。簿記 3 級では当期純利益だけだったが、その途中に存在する 4 つの利益を理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	損益計算書との違いについて考える
	授業計画	売上総利益の詳細		授業計画	キャッシュフロー計算書と P/L の関係
	事後学習	売上高、売上原価を復習		事後学習	P/L から作成する方法を復習
2	事前学習	売上総利益までを確認しておく	10	事前学習	間接法について復習しておく
	授業計画	営業利益の詳細		授業計画	キャッシュフロー計算書の作成
	事後学習	販売費及び一般管理費を復習		事後学習	各キャッシュフローについて復習
3	事前学習	営業利益までを確認しておく	11	事前学習	直接法と間接法の違いを考える
	授業計画	経常利益の詳細		授業計画	直接法、間接法、営業活動によるキャッシュフロー
	事後学習	営業外収益、営業外費用を復習		事後学習	直接法と間接法と小計の違いを確認
4	事前学習	経常利益までを確認しておく	12	事前学習	営業活動まで復習
	授業計画	税引前当期純利益利益の詳細		授業計画	投資活動、財務活動キャッシュフロー
	事後学習	特別利益、特別損失を復習		事後学習	投資活動にはどんなものが入るかを復習
5	事前学習	税引前当期純利益までを確認	13	事前学習	どの区分のキャッシュフローが重要
	授業計画	当期純利益利益の詳細		授業計画	キャッシュフローの増減パターン
	事後学習	法人税等を復習		事後学習	3 つの区分の意味合いを復習
6	事前学習	P/L の各利益について確認しておく	14	事前学習	これまでの復習
	授業計画	税効果会計について説明		授業計画	これまでのまとめ
	事後学習	主に法人税等調整額を復習する		事後学習	P/L 及びキャッシュフロー計算書の復習
7	事前学習	利益とお金の違いを考える	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	キャッシュフロー計算書の概要		授業計画	期末試験
	事後学習	キャッシュフロー計算書が必要な理由を確認		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	現金及び現金同等物とは何かを考えておく			
	授業計画	現金及び現金同等物とは			
	事後学習	現金及び現金同等物について主に復習			

評価方法	出席状況：50% 定期試験：50%
教科書	著者名 大阪商工会議所 タイトル ビジネス会計検定試験公式テキスト 出版社 中央経済社
参考書	著者名 タイトル 出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	企業統治論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	白石 一憲		
実務経験 教員紹介	30 年に渡る経営コンサルティング及び 2 社の社外取締役（1 社は上場企業）の実務があります。		

講義概要
2006 年の商法改正で企業統治が法制化され、2015 年にコーポレートガバナンス・コードが設定された。このように比較的新しい仕組み・制度であり、本講義では様々な実例を交えて、経営陣の暴走はなぜ起こるのか？企業としてどのように取り組むべきか、という基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
経営陣を監視するステークホルダーの役割責任とは何か？その中でも特に株主と経営陣の利害関係を把握した上で、企業統治の有効性と課題を理解できるようにする。
学修成果
就職活動を行う際に対象となる企業のコーポレートガバナンス体制を調べることで、その企業のガバナンスは効果的な体制になっているかを判断することができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	中間試験の振り返り
	授業計画	企業統治論の概要説明		授業計画	経営陣の不正はなぜ見逃されるのか？ ②
	事後学習	ステークホルダーを理解する		事後学習	ストックオプションを理解する
2	事前学習	前回の講義内容の復習	10	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	株主支配論、経営者支配論、金融支配論の論点について		授業計画	コーポレートガバナンス・コードと上場について
	事後学習	企業は誰が支配するかを理解する		事後学習	上場の長所短所を理解する
3	事前学習	前回の講義内容の復習	11	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	経営陣の不正はなぜ見逃されるのか？		授業計画	非上場企業の企業統治について
	事後学習	企業統治の限界を理解する		事後学習	非上場の長所短所を理解する
4	事前学習	前回の講義内容の復習	12	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	株主と経営陣の利害関係と対立について		授業計画	海外のコーポレートガバナンス①
	事後学習	所有と経営の分離の弊害を理解する		事後学習	欧米のガバナンス体制を理解する
5	事前学習	前回の講義内容の復習	13	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	エージェンシー理論とモラルハザードについて		授業計画	海外のコーポレートガバナンス②
	事後学習	モラルハザードの対応を理解する		事後学習	アジアのガバナンス体制を理解する
6	事前学習	前回の講義内容の復習	14	事前学習	これまでの講義の整理
	授業計画	モラルハザードに対するリスクマネジメントについて		授業計画	これまでの講義内容のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	経営者のインセンティブを理解する		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	これまでの講義の整理	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	これまでの講義内容のまとめ（中間試験前の振り返り）		授業計画	期末試験
	事後学習	中間試験の準備		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	中間試験の準備			
	授業計画	中間試験			
	事後学習	中間試験の振り返り			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <（課題）>：20%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	企業統治論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	白石 一憲		
実務経験 教員紹介	30 年に渡る経営コンサルティング及び 2 社の社外取締役（1 社は上場企業）の実務があります。		

講義概要
企業の暴走を防ぐためには経営陣に対する監督強化だけでなく、そこで働く従業員の法令やルールの遵守強化も非常に重要となってくる。そこで企業統治論の一環として企業運営に関わる主要な法令の理解と、コンプライアンス違反事例を通して企業の基本的な対応を学ぶ
達成目標
実際に日本企業で働く際に、自分自身がコンプライアンス違反を起こさないようにするために、どのような言動に注意すべきか？を理解できるようになる
学修成果
実際に日本企業で働いたときに、上司や周りの同僚のコンプライアンス違反を発見した場合、自分自身はどのような行動を起こすべきか？判断できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	コンプライアンスの概要について なぜ人は不正に走るのか？		授業計画	証券取引法違反について②
	事後学習	人が不正に走る背景を理解する		事後学習	証券取引法違反の背景を理解する
2	事前学習	前回の講義内容の復習	10	事前学習	中間試験の振り返り
	授業計画	パワハラ/セクハラ・労働法について ①		授業計画	知的財産権法について①
	事後学習	労働法を理解する		事後学習	知財法を理解する
3	事前学習	前回の講義内容の復習	11	事前学習	中間試験の振り返り
	授業計画	パワハラ/セクハラ・労働法について ②		授業計画	知的財産権法について②
	事後学習	パワハラ/セクハラを理解する		事後学習	知財法違反の背景を理解する
4	事前学習	前回の講義内容の復習	12	事前学習	中間試験の振り返り
	授業計画	独禁法・不正競争防止法について①		授業計画	海外のコンプライアンス違反について ①
	事後学習	独禁法を理解する		事後学習	欧米の事例を理解する
5	事前学習	前回の講義内容の復習	13	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	独禁法・不正競争防止法について②		授業計画	海外のコンプライアンス違反について ②
	事後学習	不正競争防止法を理解する		事後学習	アジアの事例を理解する
6	事前学習	これまでの講義の整理	14	事前学習	これまでの講義の整理
	授業計画	これまでの講義内容のまとめ（中間試験前の振り返り）		授業計画	これまでの講義内容のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	中間試験の準備		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	中間試験の準備	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	中間試験		授業計画	期末試験
	事後学習	中間試験の振り返り		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	前回の講義内容の復習			
	授業計画	証券取引法違反について①			
	事後学習	証券取引法を理解する			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <（ 課題 ）>：20%

教科書 著者名
タイトル
出版社
参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	英語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
This class offers communication and language practice based on business settings, and helping students develop relevant communication skills.
達成目標
Students can be familiar with language that is relevant to their work context.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 1		授業計画	Unit3: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 2		授業計画	Unit3: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 3		授業計画	Unit3: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 4		授業計画	Unit3: 4
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 1		授業計画	Review: Unit1-Unit3
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 2		授業計画	Review: Unit1-Unit3
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	Unit2: 3		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit2: 4			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況：0% 定期試験：80% < (Attitude and performance) >：20%

教科書 著者名
タイトル Business Result - Elementary
出版社 Oxford University Press

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	英語IV	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
This class offers communication and language practice based on business settings, and helping students develop relevant communication skills.
達成目標
Students can be familiar with language that is relevant to their work context.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 1		授業計画	Unit7: 3 Unit8: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 2		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 3 Unit5: 1		授業計画	Unit8: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 2		授業計画	Review: Unit4-Unit5
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 3 Unit6: 1		授業計画	Review: Unit6-Unit7
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 2		授業計画	Review: Unit8
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	unit6: 3 Unit7: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit7: 2			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況：0% 定期試験：80% < (Attitude and performance) > : 20%

教科書 著者名
タイトル Business Result - Elementary
出版社 Oxford University Press

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
日本語を第二外国語として学ぶ者向けの講義である。卒業後に日本の企業で働く際に必要なビジネスで使用する日本語の語彙・表現を増やしていく。本講義においては、就職活動で必要な一般常識を含む文書作成能力、表現力、コミュニケーション力を習得していく。
達成目標
就職活動における E メール作成、送付文書作成、電話応対ができるようになること。練習問題や新聞雑誌などビジネス関連語彙の習得及び、適切な使用ができるようになる。
学修成果
日本語検定問題を行うことで、語彙力、表現力が向上することが期待できる。また、BJT ビジネス日本語能力テストにおける「J1」の取得を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	オリエンテーション 本講義の目的・目標／実力チェック		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 模擬テスト①
	事後学習	配布資料の復習		事後学習	間違えたところの復習
2	事前学習	配布資料の該当箇所の予習	10	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	E メール① ビジネスにおける E メール の本文構成		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（文法②）解説
	事後学習	クラスルームに登録		事後学習	間違えたところの復習
3	事前学習	「結び」の例文を考える	11	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	E メール② 結び表現／「署名」の作成／		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（読解②）解説
	事後学習	送信したメールを確認する		事後学習	間違えたところの復習
4	事前学習	配布資料の予習	12	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	E メール③届いたメールに返信する （面接日確定／変更）		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる練習問題（聴解②）解説
	事後学習	メールを再送信する		事後学習	間違えたところの復習
5	事前学習	配布資料の予習	13	事前学習	配布練習問題を解く
	授業計画	E メール④ 自分からメールを送信 する（問い合わせ・履歴書添付）		授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 模擬テスト②
	事後学習	メールを 3 通、指定先に送信する		事後学習	間違えたところの復習
6	事前学習	配布練習問題を解く	14	事前学習	今までの復習
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（文法①）解説		授業計画	総復習
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	復習
7	事前学習	配布練習問題を解く	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（読解①）解説		授業計画	期末試験
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	配布練習問題を解く		事前学習	
	授業計画	1 週間のビジネスニュースを聴いて、 まとめる 練習問題（聴解①）解説		授業計画	
	事後学習	間違えたところの復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（課題）>：30%

教科書 著者名 特になし

タイトル
出版社

参考書 著者名 宮崎 道子（監修）、瀬川 由美
タイトル BJT ビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集
出版社 スリーエーネットワーク

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
日本語を第二外国語として学ぶ者向けの講義である。専門学校卒業後の社会に出てから必要となる実践的な日本語の中で、特に接客表現について学びます。特に状況に合わせたアウトプットができるようロールプレイを多用し、定着を図っていく。
達成目標
あらゆる業種・職種において必須であるビジネスマナー、仕事上のルールなどを再確認し、敬語・接遇用語・ビジネス用語など実社会の実務で使用する日本語が使えるようになる。
学修成果
インプットで使用する「サービス接遇検定」問題を解くことで、語彙力、表現力が向上することが期待できる。その結果、同検定 3 級レベルの知識が身につく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	ガイダンス なぜ接客・接遇が大切なのか		授業計画	電話対応の基本と応用② 場面別電話対応の仕方
	事後学習	配布資料の復習		事後学習	講義内容を復習しておく
2	事前学習	配布資料の予習	10	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	接客・接遇の基本 接客・接遇、それぞれの意味		授業計画	クレーム対応の基本と応用①クレーム はなぜ起こるのかクレーム対応の流れ
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	講義内容を復習しておく
3	事前学習	配布資料の予習	11	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	仕事上の日本語の特徴 クッション言葉・マナー		授業計画	クレーム対応の基本と応用② クレーム対応の心構え・注意点
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	講義内容を復習しておく
4	事前学習	配布資料の予習	12	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	接客・接遇現場において誤った言葉遣い 使ってはいけない NG 言葉		授業計画	接遇を理解するための 3 要素とは 「気づく」「聴く」「届ける」
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	講義内容を復習しておく
5	事前学習	配布資料の予習	13	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	ビジネス敬語のルールとマナー① 敬語・接遇用語		授業計画	お客さまを迎える心構えと対応コツ
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	講義内容を復習しておく
6	事前学習	配布資料の予習	14	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	ビジネス敬語のルールとマナー② 社会人として必須なマナー		授業計画	復習
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	講義内容を復習しておく
7	事前学習	配布資料の予習	15	事前学習	期末試験に備える
	授業計画	「聴き方」の基本と応用 信頼される聴き方のポイント		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容を復習しておく		事後学習	特になし
8	事前学習	配布資料の予習			
	授業計画	電話対応の基本と応用① 電話対応のポイント			
	事後学習	講義内容を復習しておく			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (課題) > : 30%

教科書 著者名 特になし

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

戸田久実 著

「ゼロから教えて接客・接遇」

(かんき出版)

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	基本情報技術	単位	4 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
情報処理技術者試験「IT パスポート」の内容を中心に、企業の仕組み、法務、経営戦略、事業戦略、経営管理などを学びます。また、時事問題（ニュースや技術動向）を随時取り上げて、社会の変化に対する感性を養います。
達成目標
ビジネス現場におけるシステムの役割を理解し、システム運用者として必要な知識や振る舞いを習得する。企業における IT 戦略の位置づけや将来性について理解し、具体的なシステムの活用イメージを理解する。
学修成果
企業活動の基本から情報システム戦略にまたがる IT を活用したビジネスの土台となる知識を得る。また、有効なシステムを手に入れるために必要な考え方や手法を理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「企業活動」 企業活動の目的、経営資源等		授業計画	「事業戦略」 事業戦略、事業戦略策定の流れ
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
2	事前学習	テキストの予習	10	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「企業の仕組み」 経営目標、CSR、PDCA		授業計画	「戦略目標の策定」 戦略目標策定のための情報分析手法
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
3	事前学習	テキストの予習	11	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「経営管理」 BC、HRM、人材育成		授業計画	「経営分析手法」 SWOT 分析、PPM、3C 分析
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
4	事前学習	テキストの予習	12	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「業務分析 1」オペレーションズリサーチ、各種グラフ		授業計画	「問題解決手法」 RFM 分析、フィッシュボーンチャート
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
5	事前学習	テキストの予習	13	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「業務分析 2」 PRET、管理図、レーダーチャート		授業計画	「経営管理」 CRM、SCM、VM
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
6	事前学習	テキストの予習	14	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「法務 1」著作権法、知的財産権関連法、不正競争防止法		授業計画	「経営管理」 VCM、ナレッジマネジメント、QC
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
7	事前学習	テキストの予習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「法務 2」労働関連法規、契約関連法規、IT 関連法規		授業計画	定期試験
	事後学習	テキストの復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	テストに向けての総復習			
	授業計画	「小テスト・解説」企業と法務分野の小テストおよび解説			
	事後学習	テストの見直し			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書	著者名 滝口 直樹
	タイトル ゼロからはじめる IT パスポートの教科書
	出版社 とりい書房
参考書	著者名
	タイトル
	出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	基本情報技術	単位	4 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
情報処理技術者試験「IT パスポート」の内容を中心に、コンピュータのしくみ、ネットワークの基本を学びます。また、時事問題（ニュースや技術動向）を随時取り上げて、社会の変化に対する感性を養い、DX に対応できる人材を目指します。
達成目標
コンピュータのしくみやクライアントサーバシステム、ネットワークの技術などビジネス現場における IT 活用やシステム運用に必要な知識や振る舞いを習得する。
学修成果
コンピュータのしくみを理解して、ビジネスで IT サービスを活用するために必要な環境を整える知識を身につける。ネットワークのしくみを理解し、ビジネスでインターネットの活用などにつなげる。

授業計画

16	事前学習	なし	24	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「ガイダンス」「コンピュータの基礎」 コンピュータの分類		授業計画	「ネットワークの基本」 ネットワークの種類
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
17	事前学習	なし	25	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「コンピュータの基礎」五大装置（五大機能）、コンピュータの分類		授業計画	「LAN の構成」LAN 構成機器（モデム・ルータ・ハブ等）の理解
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
18	事前学習	テキストの予習	26	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「CPU」 演算・制御の役割、CPU の内部構造		授業計画	「インターネットのしくみ」 インターネット技術（TCP/IP）
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
19	事前学習	テキストの予習	27	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「メモリ」 RAM と ROM、HDD、外部メディア		授業計画	「人的脅威と対策」 人的脅威、人的セキュリティ対策
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
20	事前学習	テキストの予習	28	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「ソフトウェア」OS の種類と役割、アプリケーションソフトウェア		授業計画	「物理的脅威と対策」 物理的脅威、物理的セキュリティ対策
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
21	事前学習	テキストの予習	29	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「システム」システム構成、クライアントサーバシステム		授業計画	「技術的脅威」技術的脅威、マルウェアやその他の攻撃
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
22	事前学習	テキストの予習	30	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「システム運用」多重化、バックアップ、非常時対策など		授業計画	「技術的セキュリティ対策」 マルウェア対策、機器保全対策、暗号化
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
23	事前学習	小テストに向けての総復習		事前学習	テキストの予習
	授業計画	「小テスト・解説」コンピュータシステムの小テストおよび解説		授業計画	
	事後学習	テストの見直し		事後学習	テキストの復習

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%
教科書 著者名 滝口 直樹
タイトル ゼロからはじめる IT パスポートの教科書
出版社 とりい書房

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	貿易実務 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森 尚人		
実務経験 教員紹介	これまで海外の政府機関、外資企業にてマーケティング戦略、貿易実務から国際政治・経済を専門職に従事。		

講義概要
貿易用語は専門語が多く、教科書等でもかなり高度な読解力が必要である。前期本講義では貿易の基本を輸出・輸入の大まかな流れを理解して貿易の基礎を学び、後期では貿易検定試験問題を中心に、貿易英語力をも高めていく。
達成目標
前期は、貿易のしくみ（基礎）と貿易取引の基礎的な物の流れやお金の流れを理解することにより、貿易ビジネスの実態を学ぶ。
学修成果
日本語での専門用語を理解し、また貿易英語を習得すること。そして貿易英語からビジネス英語へと、国際ビジネスマンとして活躍。貿易検定 C 級試験の受験

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	復習
	授業計画	貿易とは何か、貿易の基本を学ぶ。国内取引との違い、貿易取引全体像理解		授業計画	品質、数量条件の取り決め。
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	教科書の授業範囲を読む
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	貿易取引の流れを学習。		授業計画	インコタームズ貿易条件とは、EXW, FOB, CIF 条件を理解する。
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	教科書の授業範囲を読む
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	船会社、海貨業者、通関業者、銀行、保険会社、税関、商社等の役割		授業計画	各種手続きの依頼、船積みから輸出申告、貨物チェックまで。
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	教科書の授業範囲を読む
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	港と船のしくみを学習。		授業計画	コンテナ船での輸出、FCL, LCL 貨物に関して。
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	教科書の授業範囲を読む
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	貿易書類の種類と内容。保険に関して。		授業計画	貨物引き取りから通関まで。
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	教科書の授業範囲を読む
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	信用状の役割から決済のしくみ（輸出側と輸入側） 船荷証券の役割。		授業計画	前期の貿易のしくみ基礎編の復習と課題。
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	教科書の授業範囲を読む
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	インボイス、パッキングリストなどの必要書類とその重要性。		授業計画	前期期末試験
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	復習
8	事前学習	復習		事前学習	
	授業計画	マーケティングの必要性と方法。取引交渉から契約までの流れ。		授業計画	
	事後学習	教科書の授業範囲を読む		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：60% <小テスト>：20%

教科書 著者名 片山立志
タイトル 貿易実務の本
出版社 成美堂

参考書 著者名
タイトル 適宜資料作成して、学習する。
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	貿易実務Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森 尚人		
実務経験 教員紹介	これまで海外の政府機関、外資企業にてマーケティング戦略、貿易実務から国際政治・経済を専門職に従事。		

講義概要	
後期講義では貿易実務検定 C 級受験を目標に、過去 5 年間の出題問題を取り入れ、貿易実務および貿易実務英語を授業する。前期講義の基礎知識からモノ、カネ、カミの重要性を理解し実務としての貿易実務を習得し、貿易用語と貿易英語の両方を学習する。	
達成目標	
貿易実務検定 C 級受験を目標に、出題率の多い事項を中心に学習する。日本語の貿易実務と貿易英語の 2 つが出題されるため、貿易英語、ビジネス英語も過去の出題問題から学習する。	
学修成果	
貿易実務検定 C 級試験は留学生の合格者も多数いるが、やはり日本語の理解力が必要となる。教科書を音読させ学生の理解力を高め、専門用語に慣れること必要である。	

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記
	授業計画	契約交渉（商品、運送、保険条件）貿易英語の基礎		授業計画	貿易検定 C 級試験過去問題（第 91 回）を学習 貿易実務 貿易実務英語
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	試験過去問題の復習
2	事前学習	配布資料から貿易英語の予習	10	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記
	授業計画	貿易交渉（価格、決済、書類条件）貿易英語の基礎（授業の復習と小テスト）		授業計画	貿易検定 C 級試験過去問題（第 90 回）を学習 貿易実務 貿易実務英語
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	試験過去問題の復習
3	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記	11	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記
	授業計画	契約成立と決済準備（為替予約、信用状、保険）貿易英語構文		授業計画	貿易検定 C 級試験過去問題（第 89 回）を学習 貿易実務 貿易実務英語
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	試験過去問題の復習
4	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記	12	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記
	授業計画	貿易英語構文暗記テスト 輸出通関を船積み作業		授業計画	貿易検定 C 級試験過去問題（第 88 回）を学習 貿易実務 貿易実務英語
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	試験過去問題の復習
5	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記	13	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記
	授業計画	貿易代金決済 貿易英語構文		授業計画	貿易検定 C 級試験過去問題（第 87 回）を学習 貿易実務 貿易実務英語
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	試験過去問題の復習
6	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記	14	事前学習	配布済み貿易英語資料の見直し暗記
	授業計画	輸入通関と荷受け作業 貿易英語構文テスト		授業計画	後期授業の復習
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	総復習
7	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	これまでの貿易実と貿易英語の復習		授業計画	期末試験
	事後学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事後学習	検定試験過去問題の復習
8	事前学習	配布資料の貿易、ビジネス英語の暗記		事前学習	
	授業計画	貿易検定 C 級試験過去問題（第 92 回）を学習 貿易実務 貿易実務英語		授業計画	
	事後学習	試験過去問題の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：60% <小テスト/プレゼン>：20%

教科書 著者名 片山立志
タイトル 貿易実務の本
出版社 成美堂

参考書 著者名
タイトル 適宜資料作成し、学習材料とする。
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	財務分析 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
実務的に使える財務諸表の分析能力のうち、貸借対照表と損益計算書から財務情報の読み取り方の基本を学びます。特に「財務分析 I」では、財務諸表分析の基本体系と「成長性の分析」「安全性の分析」を中心に学び、実際の企業が公表している財務諸表を読み取り、分析力を身に付けます。
達成目標
企業の財務諸表を読むための基本スキルを身につけ、「成長性の分析」「安全性の分析」に必要な指標の計算方法と、その指標を使った具体的な分析テクニックの習得を目標とします。
学修成果
財務諸表の中核である貸借対照表と損益計算書の読み方の基本スキルを習得し、実際の企業の財務諸表を読む実践スキルと「成長性の分析」「安全性の分析」能力が身につきます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・財務諸表分析の関係者と対象となる情報について		授業計画	・「成長性分析」の実践事例③：話題となっている企業の分析
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・財務諸表分析の基本体系、分析結果の判断基準		授業計画	・安全性分析の概要①（流動比率、正味運転資本）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・基本分析：百分比財務諸表分析（貸借対照表）		授業計画	・安全性分析の概要②（流動比率、正味運転資本、手元流動性）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・基本分析：百分比財務諸表分析（損益計算書）		授業計画	・安全性分析の概要③（当座比率、自己資本比率等）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・分析のための基礎データ（各種経営指標）		授業計画	・「安全性分析」の実践事例①：話題となっている企業の分析
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・成長性分析の概要（対前年度比率、増減率など）		授業計画	・「安全性分析」の実践事例②：話題となっている企業の分析
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	定期試験対策
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	・「成長性分析」の実践事例①：話題となっている企業の分析		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	定期試験の振り返りと自己評価
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	・「成長性分析」の実践事例②：話題となっている企業の分析			
	事後学習	該当箇所の問題演習			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% < (課題) > : 25%

教科書 著者名 大阪商工会議所
タイトル ビジネス会計検定試験公式テキスト3級
出版社 中央経済社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	財務分析Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の講師及び運営業務		

講義概要
実務的に使える財務諸表の分析能力のうち、貸借対照表と損益計算書から財務情報の読み取り方の基本を学びます。特に「財務分析Ⅱ」では、「収益性の分析」と「1株当たり分析」を中心に学び、実際の企業が公表している財務諸表を読み取り、分析力を身に付けます。
達成目標
企業の財務諸表を読むための基本スキルを身につけ、「収益性の分析」「1株当たり分析」に必要な指標の計算方法と、その指標を使った具体的な分析テクニックの習得を目標とします。
学修成果
財務諸表の中核である貸借対照表と損益計算書の読み方の基本スキルを習得し、実際の企業の財務諸表を読む実践スキルと「収益性の分析」「1株当たり分析」能力が身につきます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・収益性の分析の概要①（資本利益率の概要）		授業計画	・1株当たり分析の概要②（1株当たり当期純利益、株価収益率）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・収益性の分析の概要②（総資本経常利益率）		授業計画	・1株当たり分析の概要③（1株当たり純資産、株価純資産倍率）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・収益性の分析の概要③（自己資本経常利益率）		授業計画	・1株当たり分析の概要④（1株当たり配当額、配当性向）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・収益性分析の概要④（資本利益率の要素分解①）		授業計画	・1株当たり分析の概要⑤（時価総額など）
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・収益性分析の概要⑤（資本利益率の要素分解②）		授業計画	・「1株当たり分析」の実践事例①：話題となっている企業の分析
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	該当箇所の問題演習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	・「収益性分析」の実践事例①：話題となっている企業の分析		授業計画	・「1株当たり分析」の実践事例②：話題となっている企業の分析
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	・「収益性分析」の実践事例②：話題となっている企業の分析		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の問題演習		事後学習	定期試験の振り返りと自己評価
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	・1株当たり分析の概要①（1株当たり分析の意義）			
	事後学習	該当箇所の問題演習			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題）>：25%

教科書 著者名 大阪商工会議所
タイトル ビジネス会計検定試験公式テキスト3級
出版社 中央経済社

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社における営業		

講義概要
本講義では、Japan as No.1 と謳われた日本的経営について考察していく。日本的経営方法は現在の日本企業にも踏襲されている部分も多い。本校卒業後、日本企業に就職する学生にとっては、理解しておかなければならないシステム、考え方を解説していく。
達成目標
日本の企業文化を理解するとともに、企業の海外進出のフェーズが理解できるようになること。そして、自国に進出している日系企業について分析できるようになる。
学修成果
自身が日本で就職活動を行う際に必要な企業分析ができるようになり、就職先として検討できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	オリエンテーション 日本的経営とは何か。		授業計画	日本企業の海外進出 2) 海外進出の段階について
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
2	事前学習	前回ノートの確認	10	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 1) 人的管理について		授業計画	日本企業の海外進出 3) 海外進出の方法
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
3	事前学習	前回ノートの確認	11	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 2) 組織の制度と構造		授業計画	日本企業の海外進出 4) 企業の海外戦略
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
4	事前学習	前回ノートの確認	12	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 3) 従業員の意識		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ①SONY
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
5	事前学習	前回ノートの確認	13	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 4) 経営戦略		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ②NISSAN
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
6	事前学習	前回ノートの確認	14	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 5) 日本の産業構造について		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ③ヤクルト
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
7	事前学習	前回ノートの確認	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	中間テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	なし		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回ノートの確認			
	授業計画	日本企業の海外進出について 1) 戦後の日本経済史（為替を中心）			
	事後学習	復習課題を行う			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（授業態度）>：25%

教科書 著者名 山田 英二
タイトル 新しいグローバルビジネスの教科書
出版社 PHP 新書

参考書 著者名
タイトル
出版社